

■安川第五郎 実業家。〔安川電機〕を創業して大企業にし、業界・財界活動に重き、〈敗戦〉後の復興の一端を担った。

やすかわだいごろう

帝国大学始・1886＝ 福岡県遠賀郡芦屋町生れ。筑豊炭田開発の先駆者である安川敬一郎の五男。

帝国憲法発布1889＝ 3歳：

日清戦争始・1894＝ 8歳：

日清戦争終・1895＝ 9歳：

日露戦争始・1904＝18歳：

日露戦争終・1905＝19歳：

明治天皇没・1912＝26歳： 東京帝大工学部電気工学科を卒業、日立製作所に入った後、
大正政変・・1913＝27歳： アメリカに渡り、ウェスティングハウス社に見習として約5ヵ月勤務して、
第一次大戦始1914＝28歳： 帰国後、父から何か事業を始めるよう命じられ、
21ヶ条要求・1915＝29歳： *合資会社安川電機製作所を創立。その代表社員となり、

原敬首相暗殺1921＝35歳：

水平社結成・1922＝36歳：

満州事変・・1931＝45歳：

二二六事件・1936＝50歳： *兄の急死の後を受けて社長に就任、

日中戦争始・1937＝51歳： その後、人間性と指導力により、活動分野を業界全体、財界全体へとしだいに拡大させ、

大政翼賛会・1940＝54歳：

日米開戦・・1941＝55歳： 〈日米開戦〉後の、
・・・・・1942＝56歳： いわゆる経済新体制のもとで、電気機械統制会会長に就任し、経営から離れる。

敗戦・・・・1945＝59歳： 〈敗戦〉後、

新憲法公布・1946＝60歳： 石炭庁長官に就任したが、公職追放となり、安川電機取締役役に復帰、

三大事件・・1949＝63歳： 安川電機会長になって後は、

独立回復・・1951＝65歳：

55年体制始・1955＝69歳： 日本銀行政策委員、

国連加盟・・1956＝70歳： 原子力研究所理事長、
なべ底不況・1957＝71歳： 日本原子力発電社長等、公共公益役割を担うようになり、
インストメン・1958＝72歳：

安保闘争・・1960＝74歳：

全国総合計画1962＝76歳： 日本原子力発電会長、

東京オリンピック 1964＝78歳： *東京オリンピックでは、組織委員会会長として貢献、

大学紛争始・1965＝79歳： 総合警備保障株式会社会長、

美濃部都知事1967＝81歳：

大阪万博・・1970＝84歳： 自伝「わが回想録」。日本原子力発電会長を退任・勲一等旭日大綬章。

ドルショック・・1971＝85歳： 日本原子力産業会議会長になるも、

石油ショック1973＝87歳： 退任し、

田中角栄逮捕1976＝90歳： 没した。

平凡社百科事典、